

## 再評価結果（平成21年度事業継続箇所）

担 当 課 : 道路局国道・防災課  
担当課長名 : 深澤 淳志

<b>事業名</b>	一般国道247号 中央バイパス	<b>事業区分</b>	一般国道	<b>事業主体</b>	愛知県
<b>起終点</b>	自：愛知県蒲郡市竹谷町 至：愛知県蒲郡市三谷町	<b>延長</b>	5.6 km		
<b>事業概要</b>	一般国道247号は、名古屋市を起点とし、知多半島を経て豊橋市に至る延長約180kmの幹線道路である。中央バイパスは蒲郡市の市街部を環状に迂回することで、市街部の慢性的な交通渋滞の緩和し、観光施設へのアクセス強化を目的とした延長約5.6kmの道路である。				
S63年度事業化	S40年度都市計画決定 (H12年度変更)	S63年度用地着手	H7年度工事着手		
<b>全体事業費</b>	約216億円	<b>事業進捗率</b>	75%	<b>供用済延長</b>	2.9km
<b>計画交通量</b>	19,900台/日				
<b>費用対効果分析結果</b>	<b>B/C</b> (事業全体) 2.1  (残事業) 18.7	<b>総費用</b> (残事業)/ (事業全体) 45 / 250億円  (事業費 : 41/243億円 維持管理費 : 4.2/6.9億円)	<b>総便益</b> (残事業)/ (事業全体) 839 / 520億円  (走行時間短縮便益 : 786/ 510億円 走行経費減少便益 : 43/ 1.5億円 交通事故減少便益 : 10/ 8.0億円)	<b>基準年</b> 平成20年	
<b>感度分析の結果</b>	全体事業について感度分析を実施 交通量変動 : B/C=2.3 (交通量+10%)    B/C=1.9 (交通量-10%) 事業費変動 : B/C=2.1 (事業費+10%)    B/C=2.0 (事業費-10%)				
<b>事業の効果等</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活環境の改善・保全（夜間騒音要請限度を超過している市中心部の騒音レベル低下が見込まれる）</li> <li>円滑なモビリティの確保（現道における旅行速度の改善が期待される）</li> </ul> <p style="text-align: right;">他4項目に該当</p>				
<b>関係する地方公共団体等の意見</b>	蒲郡市議会、蒲郡市政クラブより、市中心部の騒音等による環境悪化、慢性的な渋滞の対策として、本事業の早期整備の要望（H20.8.18）を受けている。				
<b>事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等</b>	市内中心部に慢性的な渋滞が発生しており、市の環状道路を形成する本路線の必要性が高まっている。				
<b>事業の進捗状況、残事業の内容等</b>	過年度までに2.9kmを供用しており、残区間において用地買収及び改良工事を推進する。				
<b>事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等</b>	残区間に未買収用地が存在するが、地権者の交渉を行うことで用地取得促進に努め、速やかに改良工事を実施することで、平成20年代中頃の全線暫定2車線供用を目指す。				
<b>施設の構造や工法の変更等</b>	新工法による大規模なコスト縮減はないが、再生材の利用などを推進している。				
<b>対応方針</b>	事業継続				
<b>対応方針決定の理由</b>	事業の必要性、事業進捗の見込み及び代替案の観点から事業継続が妥当である。				
<b>事業概要図</b>	<p style="text-align: center;">一般国道247号 中央バイパス 事業区間 L=5.6km</p> <p style="text-align: center;">残事業区間 L=2.8km    供用済区間 L=2.9km</p> <p>蒲郡市、蒲郡市役所、市役所通り、JR東海蒲郡駅、JR東海蒲郡線、247、243、23、447</p>				

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。